

## 千葉県知事選挙の結果について

2017年3月27日

日本共産党千葉県常任委員会

知事選挙において「新しい知事を選ぶ会. ちば」の**すみや信一候補勝利**のために奮闘していただいた党员、後援会員、支持者のみなさんに、心から感謝いたします。

「新しい知事を選ぶ会. ちば」としてのコメントがだされていますので、共闘に参加した政党の一つとして今回の知事選挙をどう受け止めているかについて見解をのべます。

(一) 今回の千葉県知事選挙は、史上初めて自由党、日本共産党、新社会党、緑の党、市民ネットワークが市民の中からうまれた候補者を応援してたたかいました。残念ながら**すみや信一候補**は当選には至らなかったとはいえ、実質1ヵ月の超短期のたたかいでここまで押し上げたことは、**すみや候補**の個人的魅力、政策、党と後援会の大奮闘とともに、市民と野党の共闘が県民から期待されていることを示したものです。

(二) 参院選挙での野党と市民の共闘の流れをうけて、市民と野党の共同候補が決まり、2月25日の決起集会を皮切りに、これまでの経緯をのりこえた共同が県内各地で次々とうまれ、政党、団体、個人の貴重な信頼関係がうまれました。この経験は、安倍政権の暴走を止める運動にとっても、今後の千葉県での共闘や選挙戦にもプラスの影響をもつものと確信しています。

(三) 「選ぶ会」が合意した県政改革の政策は今回の選挙戦の諸勢力の一致点であり、わが党は、たたかいに参加した政党として誠実にその実現に全力をあげます。今後、県議会の自公支配の打破、次期の知事選にむけた土台としていかしていく決意です。

(四) 同時に、今回の知事選挙で培われた共闘の経験を発展させ、総選挙で野党と市民の共闘を実現し、安倍政権打倒のたたかいに勝利するために力をつくします。

以上